



《徹底解説》2020年度全日本吹奏楽コンクール課題曲 I

トイズ・パレード

(第30回朝日作曲賞受賞作品)

平山 雄一

解説:

磯田 純子

Junko Isoda

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ フルート・ピッコロ奏者

作

曲者の方からのお話だと、この曲はディズニーの「狼なんか怖くない」と「いつか王子様が」の曲からヒントを得て、作曲したと言わっていました。どのフレーズにその部分が感じられるか、考えてみても楽しいですね!

まず前奏はテンポが滑らないように、そして華やかに演奏しましょう! [A] の 5 小節目辺りや、[B] の 5 小節目からなど、この曲の中に何度も出てくる、16分音符から 2 拍目にかけているスラーを正確に演奏して、このフレーズのキャラクターをしっかり表現し、付点音符が軽やかに聴こえるよう、演奏して下さい。

[B] のトリルに入る際、1 拍前の16分音符から繋がり入ってきますので、音符が上がってくる勢いで、トリルの頭にアクセントがついてしまわないよう気を付けながら、音量は 3 拍目に入ってから遠退いて行くような印象で、減らしていきましょう。同じパターンのフレーズが [E] や [J] にもありますね。

[C] の 2 小節目の 3 拍目裏からのフレーズは、可愛らしく・スタッカートもはっきり短く、とにかくアーティキュレーションを正確に演奏して、キャラクターを出して下さい。

3連音符に関しては、テンポ設定があまり速くないマチですので、通常の運指で動けるようになって欲しいですが、パートでどうしても揃わないようであれば、替え指①を使って演奏してみて下さい。[D] の 1 小節前にある 3 連音符も、同様に揃いが悪い・テンポに噛み合わないようであれば、替え指②を使用してみて下さい。でも本来は正式な運指で使う方が、音程・音質はいいのですからね。最初から楽はしないで、練習してみて不可能なら使ってみて下さい。[E] の 2 小節前のところは、アクセントを印象的に付けて演奏して下さい。

[E] の 6 小節目のクロッセンドは中音域で、なかなか大きくしていきにくいのですが、意識を持って吹いて下さい。

Trio 前後の F-G トリルですが(※ [K] にもあります)1st は通常のトリル運指で構いません。でも Picc は FL と同じ運指でトリルしてしまうと、音程が低く聴こえてしまうメーカーが多いです。自分の使用している楽器でトリルが半音に聴こえるな…と感じる人は、次の運指を試してみて下さい。

替え指③が 1 番音程が美しいです。難しくて指が揃わない人は、替え指④でも良いかと思います。先ずは音程の響きが明るくなるように心掛けて運指を選択して下さい。

[F] の 2 小節目からの 16 分音符はしっかりと音の粒を揃えて吹きましょう。書かれている音量の f を気にしそうると、聴こえなくなってしまいますので注意しておきましょう。

[G] の 5 小節目アウフタクトから FL のメロディは、先に吹いてくる Cla & Sax のメロディからの受け答えのように、大きなスラーを生かして滑らかに、そして [H] の 1 小節前

に入ってくる Picc は、極力自然にフレーズ最後の味付けとして薫るようなニュアンスで加わりましょう。

[H] の 3 小節目の f ですが、音量を減らした後はしっかりとキープして、自分の耳に Sax・Euph/パートのメロディが聴こえてくるようにしておきましょう。

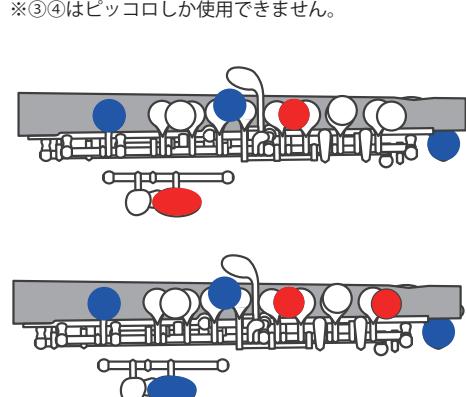
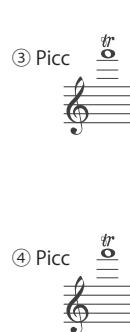
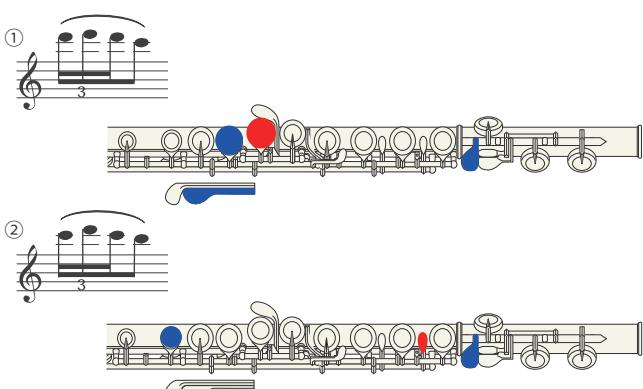
[H] の 8 小節目のスラーの細かさに注意して、アーティキュレーションを正確に演奏しましょう。この辺りの臨時記号も見落とさないように!!

[I] の 2 小節前のフェルマータは音量が痩せないようしっかりと吹き、音量を保って下さい。

[I] のところからは、動きの止まつたおもちゃがゆっくり少しずつ動き出すような、そんな様子が感じられるフレーズですね! ジワジワと上がってくるテンポに乗り、最初と同じ主題に戻って来て下さい。ただ [A] の時は $m\text{f}$ 、[J] の時は f というように、音量設定が違うことを頭に入れて、この [J] からはより楽しげに生き生きとハツラツに演奏して下さい。[K] の 2 小節前と 4 小節前は音の並びは同じのですが、アクセント有り・無しという、違いがありますので、きちんと表現しましょう!

この曲は様々なおもちゃキャラクターが想像出来そう、そんなイメージが湧いてきます。皆さんもそれぞれにイメージを膨らませて、自分自身でとにかく明るく楽しく愉快な雰囲気を持って、演奏してみて下さいね!!

● 動かす ● 押さえる



※右手人差し指だけ動かしても OK